

執筆者紹介

坂本 武 (本学教授) 干井 洋一 (本学教授)
上山 泰 (本学名誉教授) 松田 正貴 (龍谷大学非常勤講師)

【編集後記】

*

『英文学論集』第47号をお届けします。今年は大学院博士課程在学及び修了者に対する査読制度を取り入れて3年目になります。昨年同様、編集委員会委員の全員による厳正な査読の結果、4名の応募者のうち、1名が採択されました。今後ともふるって論文をお寄せ下さい。

**

2007年12月20日 関西大学英文学会総会にて上村哲彦先生、長谷川存古先生の最終講義が行われました。上村先生は「サスウェストのロレンス」、長谷川先生は「発話術為論の目指すもの」とい御論題でした。長年に渡って教育にご尽力いただいた先生方に感謝致しますとともに、一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

2007年度大学院集中講義を(客員教授)巽孝之先生にお願いしました。誌上をお借りして心よりお礼申し上げます。なお御講義内容は以下の通りです！

「ニューアメリカニズム—文学史と文化史」

今日のアメリカが演じている複雑怪奇な役柄を理解するには、アメリカニズムの起源である17世紀のピューリタン神権制からふりかえってみるのがいちばんだ。18世紀の独立革命や19世紀の南北戦争を経て確立したアメリカニズムが、いかに20世紀の帝国主義的な超大国国家をもたらしたかを、ポストモダン以後に勃興したニュー・アメリカニズムの方法論で考える。

この1年間の出版情報は下記の通りです。

仙葉豊, 能口盾彦, 干井洋一編著『未分化の母体——18世紀英文学論集』(英宝社 2007.8)

藤田実, 入子文子編著 『図像のちからと言葉のちから』(大阪大学出版会 2007.2. 日本学術振興会研究成果公開促進費助成金による)

【編集委員会委員：入子文子*, 上村哲彦, 島崎 守, 長谷川存古, 干井洋一】
(五十音順 *印 編集委員長 文責：入子文子)

平成 18 年度 英文学会会計報告

(平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月)

収入の部		支出の部	
繰越金	4,157,046 円	『英文学論集』 45 号印刷代	366,450 円
学生会費	576,000 円	『フォーラム』 35 号印刷代	282,450 円
特別会費	140,000 円	『英文学論集』 46 号印刷代	388,940 円
一般会費	1,603 円	『フォーラム』 36 号印刷代	363,300 円
利息	209,000 円	郵送費	19,645 円
		英文学会開催費	60,646 円
		英文学会公演謝礼	80,000 円
		人件費	187,200 円
		雑費	1,556 円
		次期繰越金	3,383,468 円
合 計	5,083,649 円		5,083,649 円

『英文学論集』 投稿規定

1 執筆資格

本会の会員であること。その他、評議員会で適当と認められた者。

2 投稿論文

投稿論文は、未発表の学術論文であること。口頭発表を基にした論文は、その旨を明記すること。論文の長さは、和文の場合四〇〇字詰め原稿用紙三五枚程度、英文の場合七〇〇〇語程度。なお、投稿原稿は返却しない。

3 大学院生会員による投稿

英文専攻の院生会員による投稿原稿の採否は、編集委員会あるいは同委員会が委嘱する「査読者」の評価に基づいて、編集委員会が決定する。

4 書式上の注意

- i 注は本文の末尾にまとめる。
- ii 注のナンバ―は肩付き、数字はアラビア数字（かっこなどで枠付けしない）を用いる。
- iii 和文による論文の場合、英語の引用文には原則として和訳を付す。
- iv 和文による論文の場合、外国の人名、地名、書名などは、初出の箇所で原名を入れる。
- v その他、書式の細部については次のいずれかの規定に従うこと。
 - ① *MLA Handbook for Writers of Research Papers (Fifth Edition)*
 - ② 『MLA 英語論文の手引（第5版）』（北星堂）
 - ③ 日本英語学会機関誌 *English Linguistics* 投稿規定
 - ④ *The Chicago Manual of style (Fifteenth Edition)*
 - ⑤ *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*
- vi 日本語による論文には英文タイトルを付すこと。

5 原稿締め切り

原稿の締め切りを原則として毎年9月末とし、翌年1月末までに刊行するものとする。

(新) 関西大学英文学会会則

- 第一条 本会は関西大学英文学会と称しその事務所を関西大学文学部総合人文学科英語英文学専修合同研究室に置く。
- 第二条 本会は英語学・英米文学・英米文化の研究の促進と研究成果発表を目的とする。
- 第三条 本会は第二条の目的を達成するために次の事業を行なう。
一、機関誌『英文学論集』及び学生号 *The Forum of English Literature* の刊行。
二、その他、大会、総会、談話会、講演会など、本会が必要と認められたこと。
- 第四条 本会は次の者をもって会員とする。
一、本学文学部総合人文学科英語英文学専修の専任教員。
二、本学文学部総合人文学科英語英文学専修及び同大学院文学研究科英文専攻の学生。
三、右の卒業生及び修了生であつて本会に入会を認められた者。
四、本学文学部英文学科(旧)の在職経験者中に入会希望者。
五、本学の名誉教授その他評議員が推薦した者で入会を希望する者。
本会に次の役員をおく。
- 第五条
一、会長 会長(一名)は評議員の互選によりこれを選出する。
二、評議員 第四条第一項の会員が評議員の責務を負うものとする。
三、委員 委員若干名は評議委員会で決定する。委員は編集・庶務・会計・会計監査及び広報を分担する。
- 第六条 役員の任期は二年とし、再任を妨げない。
- 第七条 会員は会費年額三千円を納入する。但し、第四条第一項に該当する者は年会費一万円を納入する。
- 第八条 会員は機関誌の配布を受けるとともに、これに執筆寄稿することができらる。
- 第九条 第四条第三、四、五項に該当する者で、執筆寄稿した者は一万円を納入しなければならない。
この会則の変更は評議員の議決による。

(会則改正 二〇〇七年二月十四日)

英文学論集 第47号

2007年12月28日発行

編集兼
発行人

関西大学英文学会
(振替口座大阪 301667)

印刷所

石田大成社

〒604-0087

京都市中京区丸太町通小川西入

発行所

関西大学英文学会

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

[非売品]

ISSN 0286-7222

KANSAI UNIVERSITY STUDIES IN ENGLISH
LANGUAGE AND LITERATURE

No. 47

December 2007

Contents

- PROFESSOR KAMIMURA: PERSONAL THOUGHTS
.....Peter MAKIN (i)
- In Honor of Professor Arihisa HasegawaTakashi AOYAMA (iv)
- Notes towards Comparative Literary Studies: An Introduction to
Soseki Natsume's English LiteratureTakeshi SAKAMOTO (9)
- Robinson Crusoe* and the British EmpireYoichi HOSHII (25)
- The Characteristics of Thomas Hardy's *Desperate Remedies*
.....Yasushi KAMIYAMA (39)
- The Taos Society of Artists: The Search for "American Art"
.....Masataka MATSUDA (55)

SOCIETY FOR THE STUDY OF ENGLISH LANGUAGE AND
LITERATURE, KANSAI UNIVERSITY